

# こおりやま広域連携中枢都市圏

## シンボル紹介



郡山市



須賀川市



二本松市



田村市



本宮市



大玉村



鏡石町



天栄村



磐梯町



猪苗代町



石川町



玉川村



平田村



浅川町



古殿町



三春町



小野町

# 郡山市

## ○ 花・木・鳥

花  
ハナカツミ



木  
ヤマザクラ



鳥  
カッコウ



## ○ 市歌

郡山市歌

作詞 土井晩翠  
作曲 橋本國彦

1 天の時あり地の利あり  
人の和ありて事のなる  
その現証を見よとこそ  
金石透る誠より栄え日に増す郡山

2 安積の山と浅香沼  
古典の中にかんばしき  
あさか新たに育英と殖産及び興業の  
機関の名とし今かおる

3 太平洋と日本海 結ぶ疏水の力見よ  
大湖とともに千載の  
長きにわたる富の基  
東北一は市の理想

4 市よその昔大帝の竜駕再びとどまりし  
栄光の場つつしみて  
心にしるし ああ奮え  
先人われに則与ふ



# 須賀川市

## ○ 花・木・鳥

花  
ぼたん



木  
あかまつ



鳥  
かわせみ



## ○ 市歌

須賀川市歌

作詞 菅野陸郎  
補作 勝 承夫  
作曲 平井康三郎

1 山はさみどり 宇津峰の

空にかがやく 平和の光

みのりゆたかに 産業興る

希望の都 意気の町

幸あれ永久に 須賀川市

2 春は愛宕に 花を賞で

秋は乙字に 紅葉をうたう

牡丹花咲き 松明もゆる

歴史の都 詩の町

讃えよ永久に 須賀川市

3 清き釈迦堂 阿武隈の

水もむつみて 集まるところ

息吹新たに 躍進誓う

文化の都 自治の町

栄えよ永久に 須賀川市



# 二本松市

## ○ 花・木・鳥

花  
菊



木  
桜



鳥  
うぐいす



## ○ 市民の歌

二本松市民の歌

作詞 朝倉修  
補作 湯浅譲二  
作曲 湯浅譲二

1

安達太良の峰陽に映えて  
阿武隈の水清らかに  
四季も華やぐこのまちに  
希望奏でる朝がある

2

ああ光あふれる二本松  
ほんとの空がここにある  
青空に舞う花ふぶき  
やさしく歌ううぐいすよ  
生命輝くこのまちに  
幸せ運ぶ風がある

3

ああ理想あふれる二本松  
ほんとの空がここにある  
青空に舞う花ふぶき  
やさしく歌ううぐいすよ  
生命輝くこのまちに  
幸せ運ぶ風がある  
ああ理想あふれる二本松  
ほんとの空がここにある



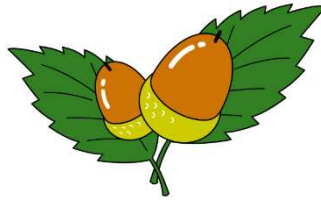
# 田村市

## ○ 花・木・鳥

花  
つつじ



木  
なら



鳥  
うぐいす



## ○ 歌（未制定）



# 本宮市

## ○ 花・木・鳥

花  
ぼたん



木  
まゆみ



鳥  
うぐいす



## ○ 市民の歌

本宮市民の歌

作詞 石原一輝  
作曲 Yukiyoshi

1 安達太良山の 朝の日に

あかるい希望が 湧いてくる  
ゆたかな自然に いだかれて  
笑顔あふれる もとみやは  
みんなの心を むすぶまち

2 阿武隈川の きよき水

うるおす恵みも あたたかい  
あらたな息吹が しあわせと  
生命はぐくむ もとみやは  
みんなが明日を めざすまち

3 文化の花が 虹と咲き

ふれあう人の和 羽ばたいて  
かさねる歴史も ほこらしく  
未来かがやく もとみやは  
みんなの喜び はずむまち

# ○ 大玉村

## ○ 花・木・鳥

花  
さくら



木  
まつ



鳥  
きじ



## ○ 村民の歌

### 大玉村民の歌

作詞 根本幸男  
作曲 板垣忠直

1 安達太良山に 朝日が映えて

光る大地に 生命みなぎる

遠い千年の 馬場桜咲き

若い力が 雄々しく育つ

ああ大玉は 伸びゆくふる里

2 百日川が 水田うるおし

野に立つ人の 汗が輝く

森の松風 未来を語り

働く喜び ゆめは広がる

ああ大玉は 明るいふる里

3 あだたらの里 茜に染まり

たわむ稲穂に 笑顔集まる

山の雉たち 閑かに遊び

明日の栄と 望みを歌う

ああ大玉は 豊かなふる里



# 鏡石町

## ○ 花・木・鳥

花  
あやめ



木  
しだれ桜



鳥

未制定

## ○ シンボルソング

「牧場の朝」

作詞 杉村楚人冠  
作曲 船橋栄吉

1 ただ一面に立ちこめた

牧場の朝の霧の海

ポプラ並木のうつすり

と 黒い底から勇ましく

鐘が鳴る鳴るカンカンと

2 もう起出した小舎小舎の

あたりに高い人の声

霧に包まれあちこちに

動く羊の幾群の

鈴が鳴る鳴るリンリンと

3 今さし昇る日の影に

夢からさめた森や山

あかい光に染められた

遠い野末に牧童の

笛が鳴る鳴る。ピイピイと





# 天栄村

## ○ 花・木・鳥

### 花

りんどう



### 木

松・えんじゅ



### 鳥

うぐいす



## ○ 村民の歌

天栄村民の歌

伸びゆく天栄

作詞 森 菊蔵

作曲・編曲 押尾 司

1 松のみどりが 色まして

えんじゅの若葉 陽に映える

川はせせらぎ 田や畑に

働く人も うぐいすも

生きる歓び うたってる

ああ天栄は 天栄は

その名のように 栄えゆく

2 残る古墳に 石碑に

はるかに遠い 時のあと

風やあらしに 耐え抜いた

歴史をいまでも 語り継ぐ

寺よ神社よ 古い樹よ

ああ天栄は 天栄は

その名のように 栄えゆく

3 霧に濡れてる りんどうの

青紫の 花の色

秋の高原 さわやかに

まぶしく光る 羽鳥湖よ

溪の紅葉に 湯のけむり

ああ天栄は 天栄は

その名のように 栄えゆく



# 磐梯町

## ○ 花・木・鳥

花  
りんどう



木  
こぶし

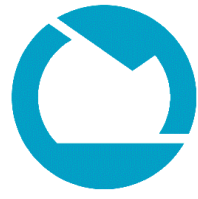


鳥  
おおるり



## ○ 歌（未制定）





# 猪苗代町

## ○ 花・木・鳥

花  
サギソウ



木  
ナナカマド



鳥  
白鳥



## ○ 歌（未制定）





# 石川町

## ○ 花・木・鳥

花  
桜



木  
杉



鳥  
うぐいす



## ○ 町民の歌

石川町民の歌

作詞 岡部俊夫  
作曲 岡部富士夫

1 阿武隈の 山なみ青く めぐらすところ

杉木立 豊かにのびて

三芦の城跡 昔 しのばす

ああ歴史のまち いしかわ

石川 わが町

2 脈々と自由のいぶき みなぎるところ

七重八重 高田の桜

薄紅にまちをいろどる

ああ心のまち いしかわ

石川 わが町

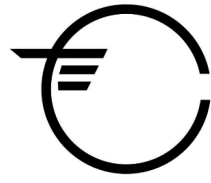
3 母畑ダム 大地くまなく うるおすところ

湯の香満ち うぐいす歌う

楽しいふるさと 幸せここに

ああ伸びゆくまち いしかわ

石川 わが町



# 玉川村

## ○ 花・木・鳥

花

山桜



木

赤松



鳥

山鳩



## ○ イメージソング

おいでよ！玉川村

作詞作曲 MANAMI

みんなおいでよ 玉川村へ 未来へ羽ばたく 元気な村  
行ってみたいとわからない 魅力がある 玉川村  
この村のいいところをたずねると返ってくる言葉

「特にこれといったものはそんなにないよ」

けど当たり前にあるから 気づいていないだけで  
四季折々の自然と 緑がたくさんある

乙の字に見える乙字ヶ滝 道端に咲くサルビアの花  
何といっても 空の玄関 福島空港がある

みんなおいでよ 玉川村へ 未来へ羽ばたく 元気な村  
行ってみたいとわからない 魅力がある

みんなおいでよ 玉川村へ 未来へ繋がる 元気な村  
一度と言わずに二度三度 おいでよ玉川村

この村の名物は キウイフルーツに似た果実

さるが食べて すぐなくなるといわれているさるなし  
名物おばちゃんに会える こぶしの里にはきゅうりに

トマト・お米・ブルーベリー おいしいもの せいぞろい  
おじいちゃんもおばあちゃんも いきいき暮らしてる

クックの森では 子どもたちが 今日も元気にかけ回る

みんなおいでよ 玉川村へ 未来へ羽ばたく 元気な村  
行ってみたいとわからない 魅力がある

みんなおいでよ 玉川村へ 未来が輝く 元気な村  
一度と言わずに二度三度 おいでよ玉川村

ちいさなあったかい村だから

おいでよ玉川村 おいでよ玉川村 おいでよ玉川村

# 平田村

## ○ 花・木・鳥

花  
たんぽぽ



木  
あかまつ



鳥  
やまばと



## ○ 村民の歌

平田村民の歌「わが平田」

作詞 牧口高義

作曲 岡部富士夫

一 風薫る館山に佇てば

蓬田岳の裾に広がるわが里よ

そのかみにここを拓きし

昔人の偲ばる

いまわれらこの村に生きん

ああ青空とみどりのふるさと

わが平田

二 みはるかす芝山の辺り

北方の名もなつかしく語りきし

ことどもの深きえにしは

北須川ととこしえ

いまわれらこの村をつがん

ああ青空とみどりのふるさと

わが平田

三 悠久のこの土の上に

勤労の汗を流して築かん

明日をみて心豊かに

むつみ合うともがら

いまわれらこの村をつくらん

ああ青空とみどりのふるさと

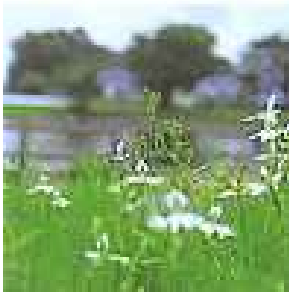
わが平田



# 浅川町

## ○ 花・木・鳥

花  
サギソウ



木  
アカマツ



鳥  
オナガ



## ○ 暮らしのうた

### 浅川音頭

作詞 久保田正巳

作曲 芳賀光夫

ハアー 町は浅川住みよいところ ヨイヨイ  
日每家並がエー 日每家並がふえてゆく  
アリヤサノヨイヤサー アリヤサノセ  
コリヤアリヤサノセ (以下はやし略)

ハアー おぼろ月夜の弘法山に  
昔かららぬエー 昔かわらぬ桜花が咲く

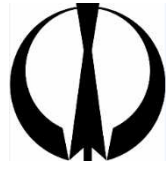
ハアー お城山から 雲五郎山へ  
渡す便りかエー 渡す便りか虹の橋

ハアー 踊りおどろか 花火を見よか  
盆の一六日エー 盆の一六日人の波

ハアー みのりうれしや 穂波の中に  
可愛いあの娘のエー 可愛いあの娘の虹だすき

ハアー 笛や太鼓に 心がはずむ  
町は若衆のエー 町は若衆の樽みこし

ハアー さあさ踊れよ 浅川音頭  
手振りしなよくエー 手振りしなよく  
踊りゃんせ



# 古殿町

## ○ 花・木・鳥

花  
ヤマユリ



木  
スギ



鳥  
キジ



## ○ 町民の歌

### 古殿町民の歌

監修 古殿町町民の歌選考委員会

#### 1 鎌倉岳の 空高く

光あふれる このあした  
躍進の意気 はつらつと  
明日を目指して 伸びてゆく  
とわのよろこび みちてゆく

#### 2 ゆたかなさとの 森かげに

ひびくひすめは やぶさめか  
むかしを伝え いまもなお  
明日をめざして 伸びてゆく  
さちを呼ぶうた こだまする

#### 3 海原さして 鮫川の

映えてさざなみ ゆきところ  
文化花咲く ふるどのに  
明日をめざして 伸びてゆく  
かぎりなき夢 結び合おう





# 三春町

## ○ 花・木・鳥

花  
松波



木  
しだれ桜



鳥  
うぐいす



## ○ 町民の歌

栄えよ三春

作詞 遠藤年一  
作曲 郡司好男

1 風さわやかにわたる山川

この地を愛し この丘を開き

産業興す道を伸ばそう

ああ栄えゆく わが三春町

2 世々つたえ来て薫る歴史の

その時を偲び その幸に映えて

明るい文化の花を咲かそう

ああ栄えゆくわが三春町

3 雲うるわしく仰ぐ城跡

あの山を誇り あの空を讃え

平和な理想の郷を築こう

ああ栄えゆくわが三春町

# 小野町

## ○ 花・木・鳥

花  
ツツジ



木  
杉



鳥  
かっこう



## ○ 町民の歌

町民歌

作詞 田村喜美子  
作曲 岡山直

1

天を衝く杉の梢に  
はるかなる歴史を偲び  
大地縫う川の流れに  
はてしなき未来を望む  
腕くんでもに讃えん  
ああ われらの小野町

2

山に咲くつつじの花に  
若き日の歎びうたい  
金色の稲穂の波に  
あすの日のやすらぎねがう  
腕くんでもに讃えん  
ああ われらの小野町

3

こだまする郭公の声に  
勤労の汗を光らせ  
鮮やかな紅葉の彩に  
伝統の文化をまもる  
腕くんでもに讃えん  
ああ われらの小野町